

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

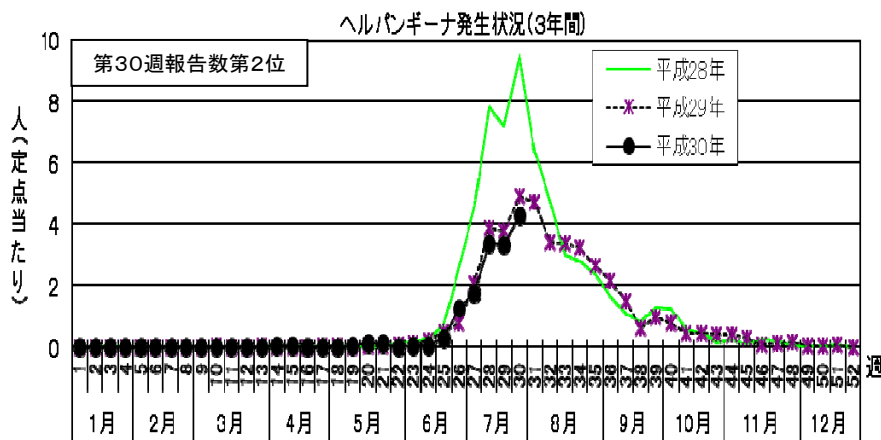
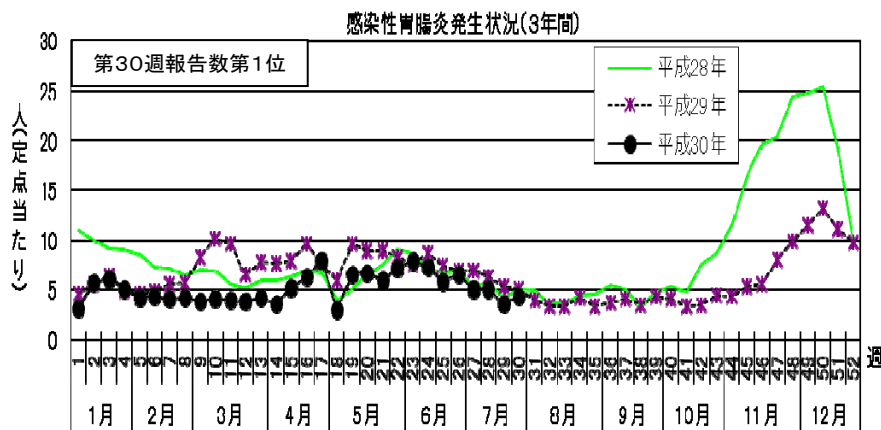
平成30年7月23日（月）～平成30年7月29日（日）〔平成30年第30週〕の感染症発生状況

第30週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.43人と前週（3.62人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は4.27人と前週（3.35人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.11人と前週（2.25人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## 夏季に気を付けたい感染症～手足口病・ヘルパンギーナ～

手足口病やヘルパンギーナは、乳幼児を中心に夏に流行するウイルス感染症です。川崎市では、6月下旬以降ヘルパンギーナの報告数が増加しており、第30週（平成30年7月23日～7月29日）の定点当たり患者報告数は4.27人となりました。一方、手足口病は例年と比べて低いレベルで推移しています。いずれの疾患もエンテロウイルス属のコクサッキーウイルスなどを原因とする感染症です。

今年度、健康安全研究所にヘルパンギーナとして搬入された検体からは、コクサッキーウイルスA2型やA4型が検出されています。

### ヘルパンギーナの症状

- 突然の高熱（38～40℃）、咽頭痛（のどの痛み）、のどに白い水疱性の発疹や潰瘍
- 通常は2～4日程度で解熱
- ※発熱時に熱性けいれんを伴うことがありますが、ほとんどは予後良好です。また、まれに髄膜炎、心筋炎等を合併することもあります。

### 手足口病の症状

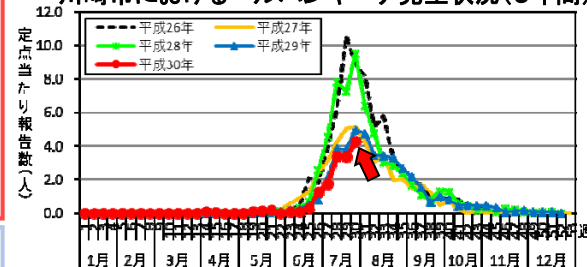
- 手のひら、足の裏、口の中などに水疱性の発疹、発熱（38℃以下のことが多い）
- 通常は軽症
- ※まれに重症化して髄膜炎や脳炎などを引き起こすことがあります。

### 予防対策

- トイレやおむつ交換の後は、排泄物を適切に処理し、念入りに手洗いをする。
- タオルの共用は避ける。



川崎市におけるヘルパンギーナ発生状況(5年間)



川崎市における手足口病発生状況(5年間)

